

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-03-04
事務事業名	地域生活支援事業	根拠法令・要綱等	要約筆記奉仕員派遣事業実施要綱 福祉機器リサイクル事業実施要綱
事業開始年度	平成18年度	担当課(室)	社会福祉課
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	職・氏名	障害者福祉係長 山本光男
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	電話	64-1824
小項目 施策	障害者(児)福祉		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	身体・知的・精神障害者
目的(何のために)	障害者が、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるために必要な各種事業を実施する。
行政活動(どのような方法で)	要約筆記奉仕員の派遣、生活訓練及びスポーツ教室の開催、日常生活用具の給付、福祉機器リサイクル自動車運転免許取得費助成、自動車改造費助成
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者の自立促進及び社会参加を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
要約筆記奉仕員派遣回数	回	31	26	43
生活訓練参加者数	人	107	94	108
スポーツ教室参加者数	人	105	112	81
日常生活用具給付数	件		45	100
直接事業費	千円	2,703	10,335	17,573
人件費		2,017	1,710	3,220
事業費計		4,720	12,045	20,793
国庫支出金	千円	1,538	6,677	14,894
受益者負担				
市費				
一般財源		3,182	5,368	5,899
必要人員	人	0.28	0.20	0.42
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
生活訓練参加者数	説明	調理や陶芸などの教室に参加した人数		
結果指標量	人	107	94	108
対前年比	%	-	87.9%	114.9%
活動コスト	円	478,000	311,000	140,000
単位当たりコスト	円	4,467	3,309	1,296
スポーツ教室参加者数	説明	スポーツ教室に参加した人数		
結果指標量	人	112	112	81
対前年比	%	-	106.7%	72.3%
活動コスト	円	440,000	271,000	100,000
単位当たりコスト	円	4,190	2,420	1,234

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	生活訓練参加者数	式又は説明	参加者数を増やしていきたい
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	107	94	108
対前年比		87.85%	114.89%
到達目標値	120	到達目標年度	毎年度

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 < A ~ E >	B
目的	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の意図する成果は、現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	障害者のニーズも高く、障害者の社会参加と自立促進のために必要な事業である。	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	効率性評価 < A ~ E >	B
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
手	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	障害者自立支援法施行に伴い、今の事業形態となっている。要約筆記奉仕員の派遣、生活訓練及びスポーツ教室の開催等の事業の実施は社会福祉法人等へ委託している。	
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価 < A ~ E >	B
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	各事業とも効果的に実施されているが、今後回数や参加者数の増加のために情報提供をより積極的に行う。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明 障害者のニーズも高く、障害者の社会参加と自立促進のために必要な事業であり、継続している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 110	結果指標量 100
	成果指標量	120

総合評価		評価区分 < A ~ E >	B	
利用者に好評な事業であり、今後も内容を検討しながら継続していきたい。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さら重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果